

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナチュラルこどもハウス 生野区店		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 21日		～ R8年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R8年 1月 21日		～ R8年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一か月前に日々の活動の計画を立てています。 イベントについても一か月前に企画をしています。	マンネリ化させず、楽しみが続くよう、職員間で相談し合い、計画を立てています。	継続して課題に取り組むことができるよう、事前準備を職員間で共通認識を持ち、協力して行っています。
2	療育スペースが広く、部屋が複数あります。	活動部屋が広いので、運動遊びで大きく使ったり、切り替えのために走って発散してもらったりしています。	壁も大きいので、イベントや季節ごとに装飾をして、雰囲気明るく、児童も楽しめるようにしています。
3	保護者との情報共有を密に行っています。	送迎時、連絡帳、活動の様子、イベントのおたより、Instagramなどで、児童の様子を共有しています。	計画書作成毎や、保護者の要望に応じて、面談や提案を行い、より児童の様子が明確に分かるようにしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ないです。	時間や場所の調整が難しいです。	きょうだい児の方も参加できるように交流の場を企画し、提供することができるようにしていきます。
2	地域住民や放課後児童クラブなどとの関わりを持つ機会が少ないです。	時間や場所の調整が難しいです。	役所にイベントなどにも参加し、交流の機会を作っていきます。
3	集団活動の経験が難しいです。	人数が少ないため、大人との活動が主になっています。	他児童と関わりが持てるよう、イベントを企画していきます。 イベントに参加しやすいように、呼びかけをしていきます。